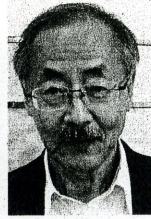


三石

酪農学園大 学長を解任

干場氏、理事会側と対立



干場信司氏



麻田信二
理事長

酪農学園大(江別市)を運営する学校法人酪農学園は14日、札幌市内のホテルで理事会を開き、全会一致で干場信司学長の任期途中での14日付の解任を決めた。後任が決まるまで、麻田信二理事長が学長代行を務める。記者会見した麻田理事

長は干場氏の解任理由について「業務怠慢などがあつた」とした。干場氏は「納得がいかず、法的措置も考えたい」と反論している。

麻田理事長は、業務怠慢と指摘した具体的内容について「教員が退職したにもかかわらず、面接などの補充手続きを速やかに行わず、新年度に間に合わなかった。また、財政健全化のため、定員の1・2倍の入学生を確保するよう要請したのに、2年にわたり検討しなかった」と述べた。学校の資産であるバイオマス

施設の装置の一部を処分した点、元常務理事に対する言動が名誉毀損に当たる点も解任理由とした。

2013年4月に学長に就任し、任期を約1年8か月残して解任された干場氏は報道陣の取材に応じ、麻田理事長の指摘について「まったく納得がいかない。理事会は現場のことを理解していない」と述べ、強く反発。法的措置も含めて対応していく構えを示した。麻田理事長と干場氏は共に、理事会と干場氏を含む一部の教授との間に対立が

あったことに言及した。干場氏は「6年ほど前から校名変更などを巡り、ぶつかることが多くなった」と述べた。